

# No. 1492

## 激 突

### — ラグビー・競馬 —

2年ぶりに全勝同士で迎えた早慶戦。

11月23日、6万2千人の大観衆が入った東京・国立競技場で関東大学ラグビー対抗グループの試合が行なわれました。優勝を決める一戦とあって両校とも白熱したゲームを展開。開始3分早大の反則で慶大がPGを決め3-0とリード。早大も18分FWの活躍でトライ、4-3と逆転するも25分またPGを慶大に決められ前半は6-4で終了。後半10分早大の得意の速攻でトライ、8-6と逆転、23分にPGも決め11-6と優位に立つも、明大戦で奇跡の逆転勝ちした慶大の執念は29分ブラインドから出たボールを若林がライン側40メートル独走しトライ。ゴールも成功、12-11と再逆転しそのまま逃げ切り4年ぶり7度目の優勝を飾りました。

一方、世界9ヶ国の代表馬14頭が出走する第4回ジャパンカップが11万人のファンで埋まる東京競馬場で行なわれました。日本代表の四冠馬ミスターシービー、三冠馬シンボリルドルフなどが外国の一流馬に勝てるかが今年の問題。しかしレースはスタートから「大逃走」した日本のカツラギエースが追いつがる英国馬ベッドタイムやシンボリルドルフを振り切って優勝する大穴レースとなりました。

日本馬が外国馬に勝ち日本の競走馬も世界に通用する日が近づきつつあるようです。